

左の記事を読んで下の問いに答えましょう。

1 傍線部①③④の漢字の読み方をひらがなで書きましょう。

①
③
④

2 傍線部②「元寇」があったのは、日本の何時代であつたかを書きましょう。

時代
----

3 筆者の俳句の中の傍線部⑤「追羽子」とはどんな遊びのことか書きましょう。

--

4 本文には、いろいろな北風が書かれています。その中で、一番水を含んだ北風はどこ北風で、なぜ水分が多いかを書きましょう。

どこ
なぜ

# 新春を詠む 風

冬の風といえば北風。冬型の気圧配置になると強く吹く北からの季節風である。もちろん冬の季語になっている。誰でも知っているつもり北風だが、生まれ育った土地、暮らしている土地によって、北風のイメージは実は人によってずいぶん違うのではないか。

① 私は千葉県佐倉で育った。下総国の城下町で、北を向くとかなたに見える筑波山まで山らしい山がない。平らな関東平野

## 土地ごとに吹きわたる ◆ 小川軽舟



おがわ・けいしゅう 1961年千葉県生まれ。俳誌「鷹」主宰。句集「朝晩」で俳人協会賞、「無辺」で蛇笏賞など受賞多数。

をさえぎるものなく吹く北風は、落葉や砂ほりを巻き上げながら冷たく乾いている。いわゆる空つ風である。

社会人になり、福岡に転勤して、北風の印象ががらりと変わった。② 元寇に備えた防塁の残るあたりに住んでいたのだが、北は博多湾、さらに沖に出ると玄界灘から日本海。夏は静かな青い海だが、冬は暗く荒々しい。その海から吹きつける北風は重く湿り、みぞれや③ 時雨を降らせ

る。9月に生まれたばかりの長男をベビーカーに乗せて近所の神社に初詣に行ったときの北風の冷たさは忘れがたい。

福岡の雑煮はあじ出汁で、具は鯛かつお菜である。鶏肉の雑煮で育った私には、鯛の入った雑煮が寒い海に向き合っ街らしくて新鮮だった。福岡は九州だから暖かいだろうという思い込みは北風に吹き飛ばされた。

北に山があると北風は山から吹き下ろす。これを俳句では北

風と呼んで季語にしている。名のある山の北風であれば富士風、浅間風、比叡風といった山の名つきで呼ばれる。

私は現在、仕事の都合で家族と離れ、神戸に住んでいる。北



夕間

には六甲山、従つて北風は六甲風である。暮らしてみると実際には六甲山が北風をさえぎり、南にはよく晴れた海が光って、冬の気候は比較的温暖だ。それでも冷え込んだ日には六甲山の雪が飛ばされてくるのか街に風花が舞う。

ところで、当地では六甲風といえは「阪神タイガースの歌」の通称としてあまりにも有名だ。18年ぶりのセ・リーグ優勝と38年ぶりの日本一を成し遂げた昨年はどれだけファンが熱唱したことが、六甲風に冬の北風のイメージは薄く、タイガースの勝利を祝して颯と吹きわたるのである。(俳人)

## ⑤ 追羽子の高く上がれば流れけり

## NIEワークシートのこたえ（2024年1月10日公開）

### ◆ワークシート「北風のイメージ(国語)」 2024.1.10付 朝刊 文化面 解答

- ① しもうさのくに(しもふさのくに しもつふさのくに)  
③ しぐれ  
④ そうに
- 鎌倉時代
- 羽根つき
- どこ 福岡  
なぜ 海から吹き付ける北風だから